

基礎データ (令和2年10月1日現在) 出典: 2020年度国勢調査 人口・世帯関係データ

○地図



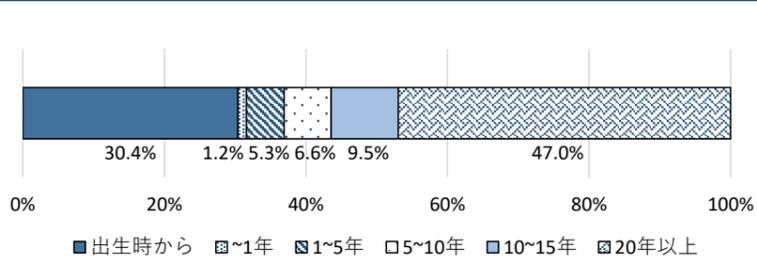
○人口データ

人口	932 人 (0.2%)	【 市 417,496 人 】
男性	467 人 (0.2%)	【 市 202,029 人 】
女性	465 人 (0.2%)	【 市 215,467 人 】
平均年齢	58.5 歳	【 市 47.5 歳 】
高齢化率	47.5 %	【 市 27.6 % 】
後期高齢化率	26.3 %	【 市 13.9 % 】
外国人数	1 人 (0.0%)	【 市 3,577 人 】

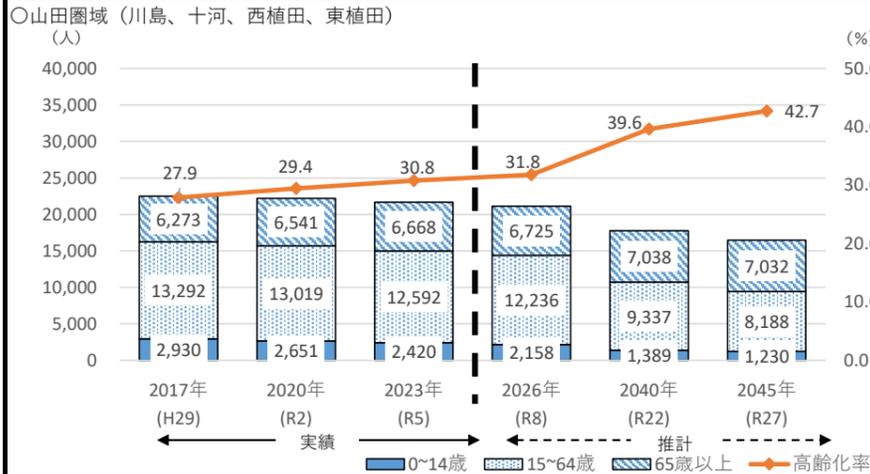
○世帯データ

総世帯数	386 世帯 (0.2%)	【 市 187,144 世帯 】
核家族世帯数	228 世帯 (0.2%)	【 市 103,254 世帯 】
(核家族世帯率)	59.1 %	【 市 55.2 % 】
18歳未満同居数	44 世帯 (0.1%)	【 市 37,246 世帯 】
(18歳未満同居率)	11.4 %	【 市 19.9 % 】
65歳以上世帯員を含む世帯数	291 世帯 (0.4%)	【 市 72,524 世帯 】
(65歳以上同居率)	75.4 %	【 市 38.8 % 】
高齢者のみの世帯数	158 世帯 (0.4%)	【 市 44,722 世帯 】
(高齢者のみの世帯率)	40.9 %	【 市 23.9 % 】
高齢者独居世帯	75 世帯 (0.3%)	【 市 22,457 世帯 】
(高齢者独居世帯率)	19.4 %	【 市 12.0 % 】
3世代同居	39 世帯 (0.7%)	【 市 5,850 世帯 】
(3世代同居率)	10.1 %	【 市 3.1 % 】

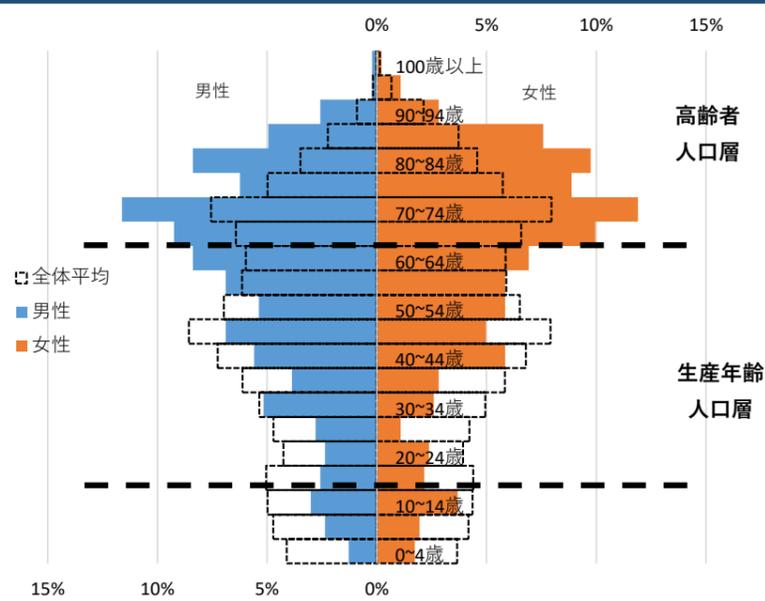
○居住年数別人口構成比



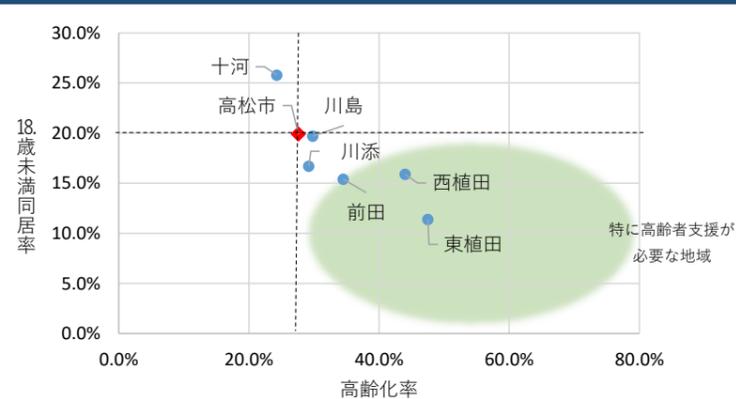
○人口推計グラフ (実績: 住民基本台帳各年10月1日 推計: 高齢者保健福祉計画)



○年齢層別人口分布割合ピラミッド



○18歳未満同居率/高齢化率散佈図



○地域資源データ

医療機関 (令和8年1月)

0	医療情報ネット (ナビイ) より
---	------------------

歯科医院 (令和8年1月)

0	医療情報ネット (ナビイ) より
---	------------------

介護サービス (令和8年1月)

居宅介護支援事業所	0	訪問型サービス	0
通所型サービス	0	地域密着型サービス	0
施設系サービス	0	サービスB	0

買い物施設等 (令和8年1月)

コンビニ	スーパー・商店	ドラッグストア	郵便局・金融機関
0	1	0	1

高齢者の居場所 (令和8年1月)

8	【サロン】 袖尾元気になるう会、遊ゆう会、公洲さくら会、高様笑話会、下司つかさ会 【居場所】 なし 【中老会】 グランドゴルフ (火木土) ゲートボール (月水金) 【こども食堂】 よりまーせひがしうえた食堂 (R7年7月開設)
---	---

老人クラブの活動・コミセン活動・認知症カフェの活動等 (令和8年1月)

【中老会 (老人クラブ)】 ・お誕生会・ふるさと昔遊び (保育園児との交流) ・竹細工倶楽部 (小学校で竹細工教室、さくら祭りでの展示) ・ゲートボール、グランドゴルフ (ちびっこ広場) 【コミュニティ協議会】 ・さくらまつり・たなばたコンサート・夏祭り・文化祭・イルミネーション・里山巡り・放課後子ども教室・センター講座・同好会活動・センターだより (年4回) ・HPの運営・子ども食堂主催 【認知症カフェ】 なし

老人介護支援センターの活動 (令和8年1月)

高松さんさん荘
介護に関する相談、24時間対応体制の確保、認知症サポーター養成講座、高齢者支援推進事業、出前講座 (地域のサロン等) 等に出向き、健康講座や作品作りなどを実施)、買い物移動支援・年1~2回・高齢者給食の送迎、福祉のおはなし (お正月飾りの作成)、つかさ会 (年2回 下司つかさ会へ出向いての交流)

○地域特徴分析

地域特性

- ・高松市南東部に位置し、東植田町・菅沢町からなる。少子高齢化、過疎化、空き家問題が深刻であり、出生数は1桁台。小学生は全校生徒で25名。高齢化率は47.5%と高く、高齢者のみの世帯は全体の約41%であり、その約半数の世帯は独居高齢者である。
- ・農業を主な産業とし、農協に野菜を持ち込むなど高齢になっても収入を得ている人も多い。離農者の増加に伴う休耕田の問題やイノシシやサル等鳥獣被害の問題もあるが、田畑を借り、有機栽培などで農地を活用している若い世代も居る。
- ・山田地区乗合タクシーどんぐり号は1日4便で、バス停までが遠く利用が難しいと感じている住民も多い。利用者数は少なく、受診や買い物は家族のサポートを得られる人や高齢ドライバーが多い傾向にある。一方、移動スーパーの利用は盛んであり、週2回とくし丸が町内を回っている。
- ・菅沢町は特に人口減少、高齢化が特に深刻な地域。東植田方面から菅沢に至る県道30号線は道幅が狭く、峠を超える必要があるため、買い物や通院、福祉サービスの利用は塩江町で行う事が多い。交通手段としては塩江町コミュニティバスがあるが、上りのみで利便性は良くない。そのため高齢になっても車を運転する人は多い。

主な地区活動

【地区社協】 ・年2回広報誌 (みなさん元気でできょん) ・買い物支援 (第2・4水曜日14時~八幡神社下 フジおまかせくん) ・高齢者福祉給食サービス・福祉のおはなし 【青少年健全育成連絡協議会】 ・ふれあい農園・ぐるっと東植田・どろんこ遊び (多世代交流) ・年1回広報誌 (東植田っ子元気でできょん) 【体育協会】 ・ウォークラリー・合同運動会 【自主防災連合会】 ・防災マップの作成 【保健委員会】 ・いきいき健康講話 (年6回、菅沢町年4回) 【八幡神社行事】 ・例大祭・清掃活動 (年5回) 【地域福祉ネットワーク会議】 ・住民主体サービス (たのめんかひの~東植田) ・高齢者給食後の福祉のおはなし

